

公開講座

公益社団法人
日本測量協会

古代の測量術と邪馬台国

魏志倭人伝の行程記事について、船や徒歩で実際に旅行しても、知ることのできない目的地の方位をどうやって知ったか、という問題を発端にして、地図がなかった古代における測量術を復元する。記事にある距離は航路や道路の距離ではなく、見通せる地標間の直線距離であった（「山当て」による）。このことを根拠に倭人伝の記事を解釈し直した。

- ①東は N60E（夏至の日の出方向）、1000 里は約 67km である。
- ②（漢文にはもともと時制がないが、原文を過去形に解釈すべきだとして）
邪馬台国は卑弥呼の出身地に過ぎず、そこに倭国の王宮があったのではない。
（前例はないが県知事がその後日本国の首相になったようなもの）
- ③倭の女王卑弥呼の王宮は、大城山（太宰府背後の山）の麓の伊都国（春日市）にあった。倭国直轄の領土はなく、国民はいない。

◆日 時 平成 25 年 7 月 3 日(水)

16 時より

講演 16:00～17:00 質疑応答 17:00～17:30

◆講 師 野上道男 氏（東京都立大学名誉教授）

○著書「魏志倭人伝・卑弥呼・日本書紀をつなぐ糸」（古今書院刊、2012 年）

◆会 場 公益社団法人日本測量協会研修室（東京都文京区小石川 1-3-4）

◆参加費 無料

◆CPD ポイント 測量 CPD を 1 ポイント発行

◆募集人員 30 名（定員になり次第締切らせていただきます）

◆申込方法 申込はメールまたは FAX で事前登録が必要です

※氏名・所属(会社)・連絡先(電話・FAX)・メールアドレス・CPD 登録番号
(登録済みの方)を明記の上お送りください。

★申込先 E-mail : open-lecture@jsurvey.jp FAX:03-5684-3366

Tel:03-5684-3360

(担当:甘楽 実)